



## 報告事項（2）

# 令和5年度市民協働推進事業の 実施報告について

令和6年3月15日

令和5年度 第3回 市民協働推進会議

## 1 公益活動事業補助金

採択事業①：にぎわいの創出や魅力づくりに寄与する事業

採択事業②：子どもの居場所づくり イチゴ教室の展開

## 2 第1回市民参加・協働セミナー

## 3 第2回市民参加・協働セミナー

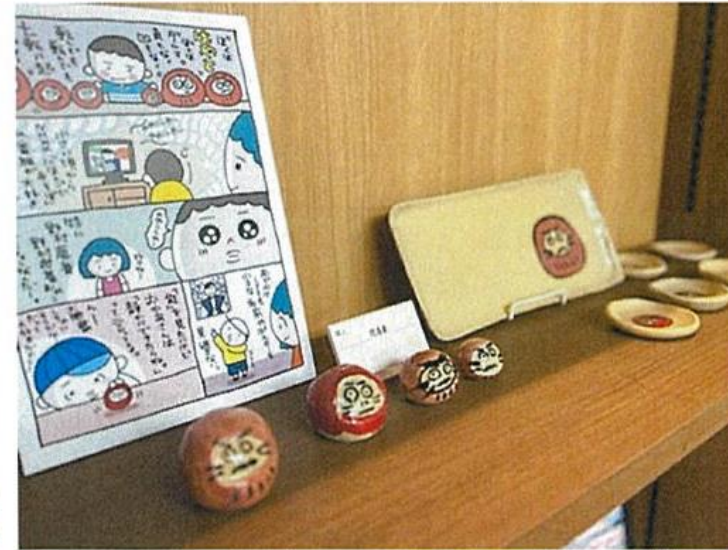
## 採択事業①：にぎわいの創出や魅力づくりに寄与する事業

団体名：社会福祉法人 北ひろしま福祉社会就労センタージョブ

事業概要	<p>今年度は、“アートでまちづくり”というチャレンジテーマを掲げ、先駆的な取り組みをしているまちや事業所と協働する機会を設けていきたいと考えています。障がいの垣根を超えて、すばらしい作品に触れ、『たのしむ・かんじる・かんがえる』ことで、自分の住むまちが楽しく豊かな場所になるよう働きかけていきます。</p> <p>地元の作家・学生・学校・住民の友好な交流は、魅力あるまちづくりの大切な要素だと感じています。</p>
事業の実施方法	<p>対象者：地元の方又は近隣市町村にお住まいの方</p> <p>日程：7/1（土）～7/31（月）アートの展示会（7/22にトークイベントを開催）</p> <p>場所：レストラン&amp;ベーカリーカフェ『にじのかかるところ』</p>
補助金申請額	171,000円
内容	特定非営利活動法人あめんぼ（群馬県桐生市にある芸術活動支援団体）との協働アートイベント&展示会

※事業完了、実績報告、補助金交付済み

# 事業実績 アートイベント&展示会



アーティストを漫画で紹介



■ 実施期間：6/29～9/8  
(アート展示期間：7/1～7/31)

■ 期間中来場者数：1,800人

# 事業実績 トークショー



The Ambitious City  
—大志をいだくまち— HOKKAIDO 北広島市

- 実施日：7/22（土） 14:00～16:00
- 参加者数：30人
- 登壇者：NPO法人あめんぼ代表 野村 裕子 氏、吉田 征雄 氏



## 採択事業②：子どもの居場所づくり イチゴ教室の展開

団体名：特定非営利活動法人 ゆとりの

事業概要	今子どもたちは、家庭、学校で過ごし、そのあとは、家庭の都合で月曜から土曜日を学童保育で過ごすか塾かお稽古事に通うかで過ごしている。しかし一方で息苦しさを覚える子供も少なくない。そこで、子どもにとっての第3あるいは第4の居場所を提供することで、孤立予防に寄与したい。また、そこでは主体的に協同して有意義な居場所づくり、活動づくりを試行することで、子どもの健全育成に寄与したい。
事業の実施方法	対象：幼児（保護者同伴）、小学生～高校生（会場に来ることができる者） 日時：毎週水曜日14:30～17:30を基本とする 会場：NPO法人ゆとりの（北広島市大曲緑ヶ丘5丁目12-1）とその周辺の雑種林、畑など。
補助金申請額	229,000円
内容	宿題、自主学習、自主活動（複数で行うボードゲーム、サッカー等） 新聞づくりや小物づくり等参加者が希望する活動

※3月末事業完了見込み



# 第1回 市民参加・協働セミナー



The Ambitious City  
— 大志をいだくまち — HOKKAIDO 北広島市

## ■ 目的

人口減少・少子高齢化の時代における地域課題の解決に対応するため、自治会をはじめとする公益活動団体を対象に、協働についての理解の促進と意識の醸成を図ること。

## ■ 会場・開催日

芸術文化ホール 活動室 1・2

令和6年2月4日（日） 10:30～12:30

## ■ 周知方法

市ホームページ、市広報、市公式LINE、町内会回覧、新聞掲載、JR北広島駅大型ビジョン、NPO法人への案内送付、市役所サイネージ等

令和5年度 北広島市市民参加推進事業／市民協働推進事業  
北広島市自治連合会研修会（北広島市自治連合会共催）

若い人がイベントに参加してくれるコツを知りたい！

スマホの活用方法を教えてほしい！

町内会・自治会・団体運営のデジタル化のススメ

### 第1回 市民参加・協働セミナー

2月4日（日）  
10:30～12:30  
(10:00 開場)

芸術文化ホール 活動室1・2

参加無料 定員40名

少子高齢化 担い手不足

回覧板をSNSで配信できるって本当？

第1部 10:35～11:10  
講演「デジタル化のススメ」  
(株)GLOCAL DESIGN  
マネージャー まつだ さおり 氏  
松田 沙織 氏

講師

第2部 11:20～12:20 ワークショップ  
「デジタル化を体験してみよう」

1月26日(金)までに北広島市市民生活課までお申込みください。  
電話：011-372-3311(内線2302) FAX：011-370-2880  
メール：shimins@city.kitahiroshima.lg.jp

スマホをお持ちの方はご参加ください！



# 第1回市民参加・協働セミナー



The Ambitious City  
—大志をいだくまち— HOKKAIDO 北広島市

## ■ 講師

(株) GLOCAL DESIGN マネージャー 松田 沙織 氏

## ■ 内容

第1部 講演「デジタル化のススメ」(10:35～11:10)

- 町内会・自治会のデジタル化のメリット
- LINEを利用したコミュニケーションの方法、利用事例の紹介など

第2部 ワークショップ「デジタル化を体験してみよう」(11:20～12:20)

実際にスマートフォンを利用してLINEオープンチャット※を体験

※SNSアプリ「LINE」で、友達登録をしていない人とでも匿名でやりとりができる機能

## ■ その他

セミナーの趣旨・テーマから、北広島市自治連合会と共催で、研修会として位置づけし、町内会・自治会担当者をメインに参加者を募った。

## ■ 参加者数 34名



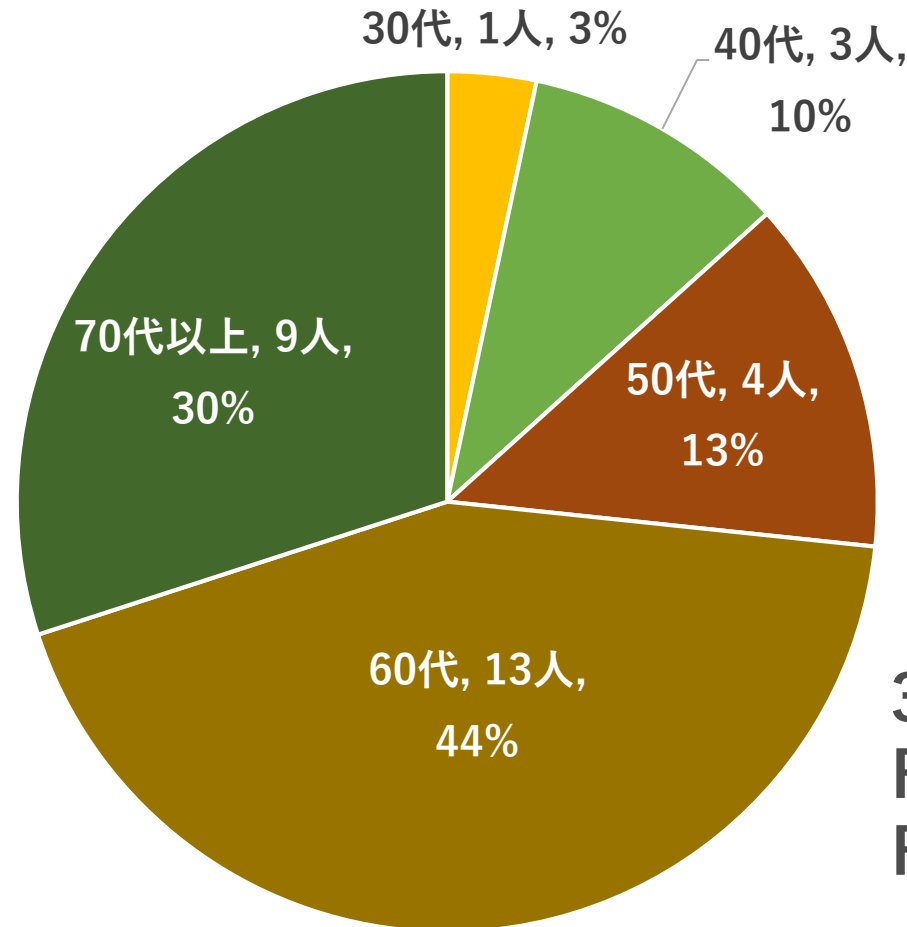
第1部 講演

## 第2部 ワークショップ



## 年代

- 選択肢
- ① 10代
- ② 20代
- ③ 30代
- ④ 40代
- ⑤ 50代
- ⑥ 60代
- ⑦ 70代以上



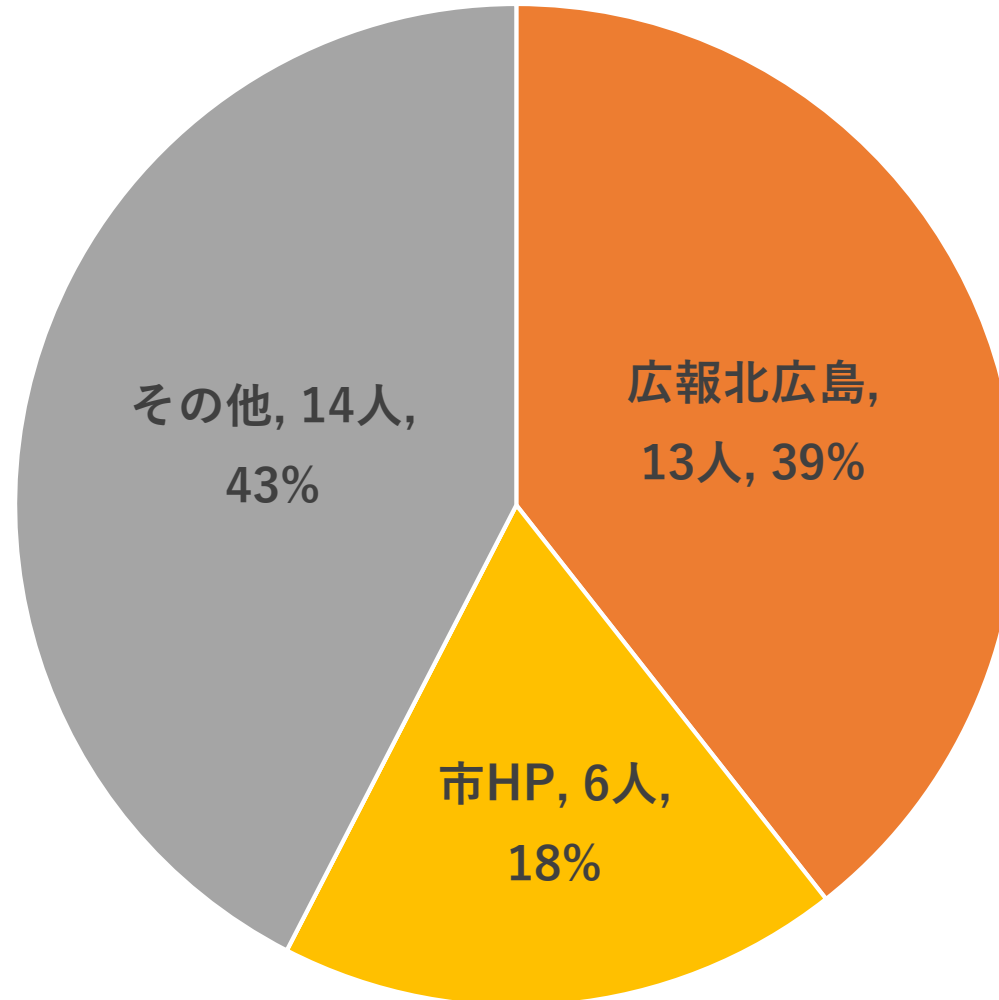
- 主な参加者
- 町内会
- 自治会関係者
- NPO法人

30～50代の割合が向上  
R5 : 26%  
R4 : 14%

## 年代

### ■ 選択肢

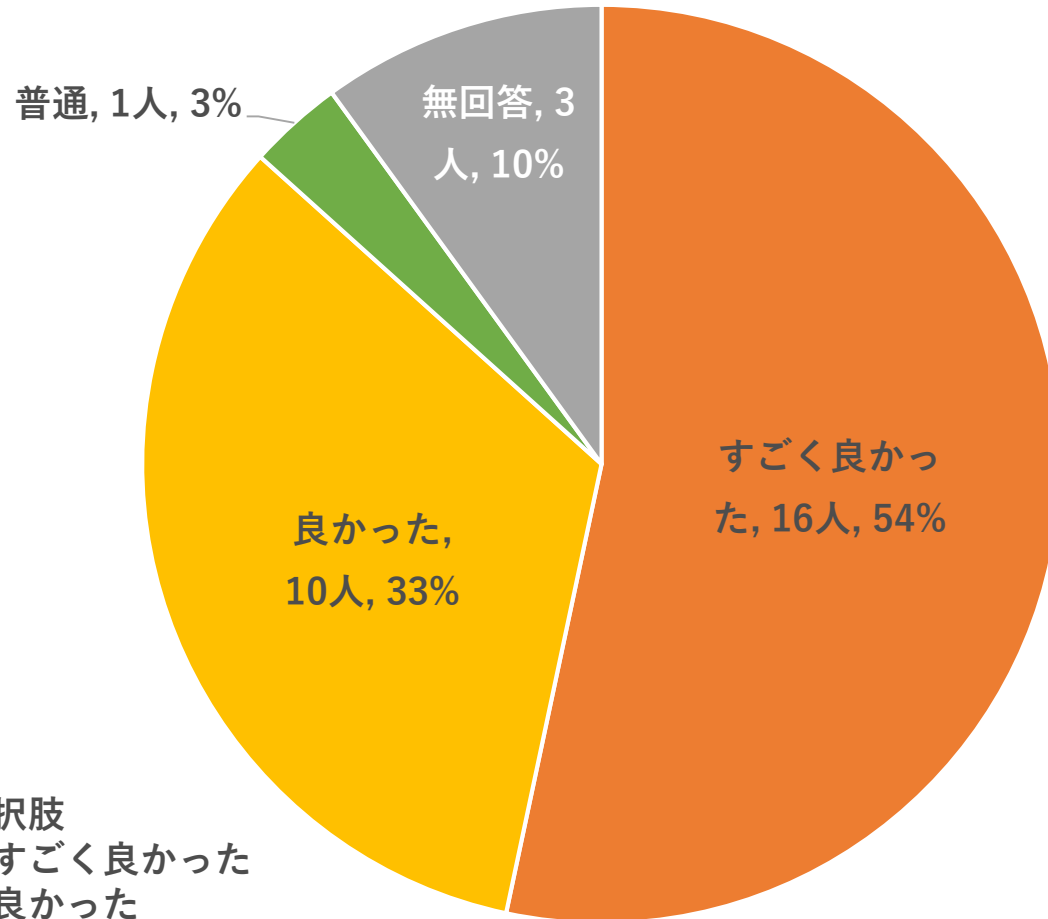
- ① 広報北広島
- ② 市HP
- ③ 新聞
- ④ その他



### ■ その他の内容

- 町内会
- 郵送・手紙
- 回覧板
- 市からの案内
- NPO法人へのDM
- 市役所窓口
- 連合町内会・自治会  
など

## セミナーの感想



- 選択肢
- ① すごく良かった
  - ② 良かった
  - ③ 普通
  - ④ あまり良くなかった

### 【すごく良かった】

- グループで話し合いながら実践できました。具体的な悩みなどグループで共有できた。
- オープンチャットの実体験は楽しかったです。町内会のデジタル化の難しさも感じました。
- デジタル化の推進に大変役立ちます。ありがとうございました。

### 【良かった】

- デジタル化をどうやっていくか悩んでいたのが見えました。まずはお試し版をつくってみたいと思います。
- グループラインとオープンチャットの相違、オープンチャットの使い方について良く理解できた。
- 思いのほか関心の高い方が参加していた。良かったです。

## 市民協働によるまちづくりを進めるため、力を入れるべき だと思うこと（自由記載）

- 集会所を地域住民が活用できるように行政の広報機能を作してほしい。（例 行事の案内、メンバー募集、講師募集）
- 若い方々や子育て世代が参加しやすい町づくりの具体的施策を作り上げていきたいですね。市の活動に市民が直接的にデジタルで参加できる場が必要だと思います。
- 町内会活動への協働作業の場として、ホームページの利用を増やすことになりそうです。
- 市の公式LINEアカウントは利便性が高いので引き続きレベルアップして下さい
- このようなセミナーの活性化（テーマを市民にリクエストする）
- 留学生、研修生、観光客等外国人との交流
- 大学生との交流
- 住民のデジタルに対するハードルを下げること
- 昨年、酒本氏がおっしゃったように、子どもに目を向けることだと思います。
- 町内会との連携と協力体制
- 協議できる場を多く設定する
- スマホの使い方わからない人が多い。スマホの使い方の指導が先決ではないか。特に高齢者。
- 今後の地域活動に携わる内容
- 自治会の必要性の啓発

## お気づきの点・メッセージ（自由記載）

- 心地良い機会でした
- セミナー開催ありがとうございました。また参加したいと思います。
- 日本のデジタル化の遅れが、コロナ禍で明らかになりましたので・・・困難でもがんばりましょう！
- デジタル化した自治会の例を沢山出してほしいです。
- 興味深い内容で良かった。しかし、解決したかった内容まではたどりつけなかった。残念です。
- 時節にあった企画をありがとうございました！

# 第2回 市民参加・協働セミナー



The Ambitious City  
— 大志をいだくまち — HOKKAIDO 北広島市

## ■ 目的

人口減少・少子高齢化の時代における地域課題の解決に対応するため、市民参加・市民協働を推進し、NPO法人をはじめとする公益活動団体を対象に、協働についての理解の促進と意識の醸成を図ること。

## ■ 会場・開催日

芸術文化ホール 活動室 1・2  
令和6年2月29日（木） 14:00～16:00

## ■ 周知方法

市ホームページ、市広報、市公式LINE、町内会回覧、新聞掲載、JR北広島駅大型ビジョン、NPO法人への案内送付、市役所サイネージ、第1回セミナー内で案内等

令和5年度 北広島市市民参加推進事業／市民協働推進事業

### 第2回 市民参加・協働セミナー

## 情報発信とデジタルでつながる コミュニティ

2月29日(木) 14:00～16:00  
(13:30 開場)

芸術文化ホール 活動室1・2

参加無料  
定員40名

公益活動団体としてまちづくりに取り組む皆さんを対象に、講演とワークショップが一体になったセミナーを開催します。コロナ5類移行後の団体運営について一緒に考えてみませんか？

参加対象：NPO法人、町内会、サークルなど

第1部 14:05～14:45 講演  
「情報発信とデジタルでつながるコミュニティ」

講師 (株)GLOCAL DESIGN  
代表取締役 さけもと ひろし 氏  
酒本 宏 氏

コミュニティデザインや観光まちづくり、商店街活性化、エリアマネジメントなどの「まちづくり」のコーディネート・プロデュースを行っている。  
札幌市や仙台市など全国600以上の町内会・自治会の皆さんとワークショップを行い、担い手不足などの団体運営の課題に取り組んでいるほか、札幌市のまちづくりセンターアドバイザーとしても活躍している。ご自身の町内会の総務部長も務めている。

第2部 14:50～15:50 ワークショップ

2月26日(月)までに北広島市市民生活課までお申込みください。  
電話：011-372-3311(内線2302) FAX：011-370-2380  
メール：shimins@city.kitahiroshima.lg.jp

スマホ・PCは  
こちらから





## ■ 講師

(株) GLOCAL DESIGN 代表取締役 酒本 宏 氏

## ■ 内容

第1部 講演「情報発信とデジタルでつながるコミュニティ」 (14:05～14:50)

- 町内会・自治会・団体運営の課題 (活動の透明化、人材発掘、イベントの周知)
- 効果的な情報発信の方法

第2部 ワークショップ (15:00～16:00)

若い人とつながる情報発信について

# セミナー当日の様子

■ 参加者数 22名



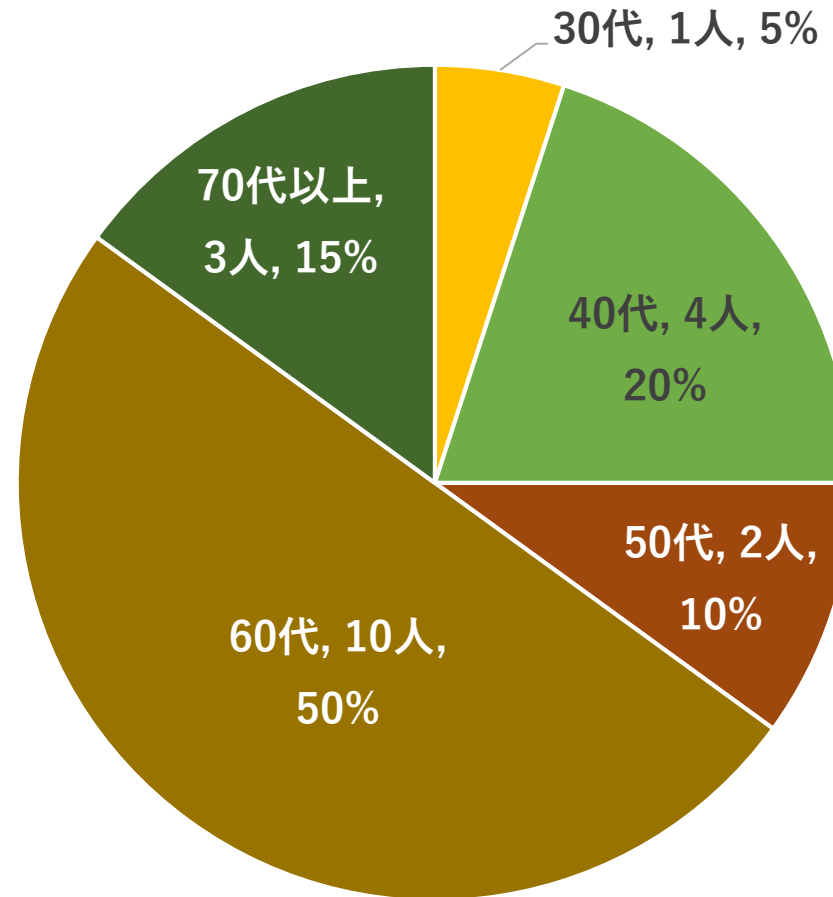
第1部 講演



第2部  
ワークショップ

## 年代

- 選択肢
- ① 10代
- ② 20代
- ③ 30代
- ④ 40代
- ⑤ 50代
- ⑥ 60代
- ⑦ 70代以上

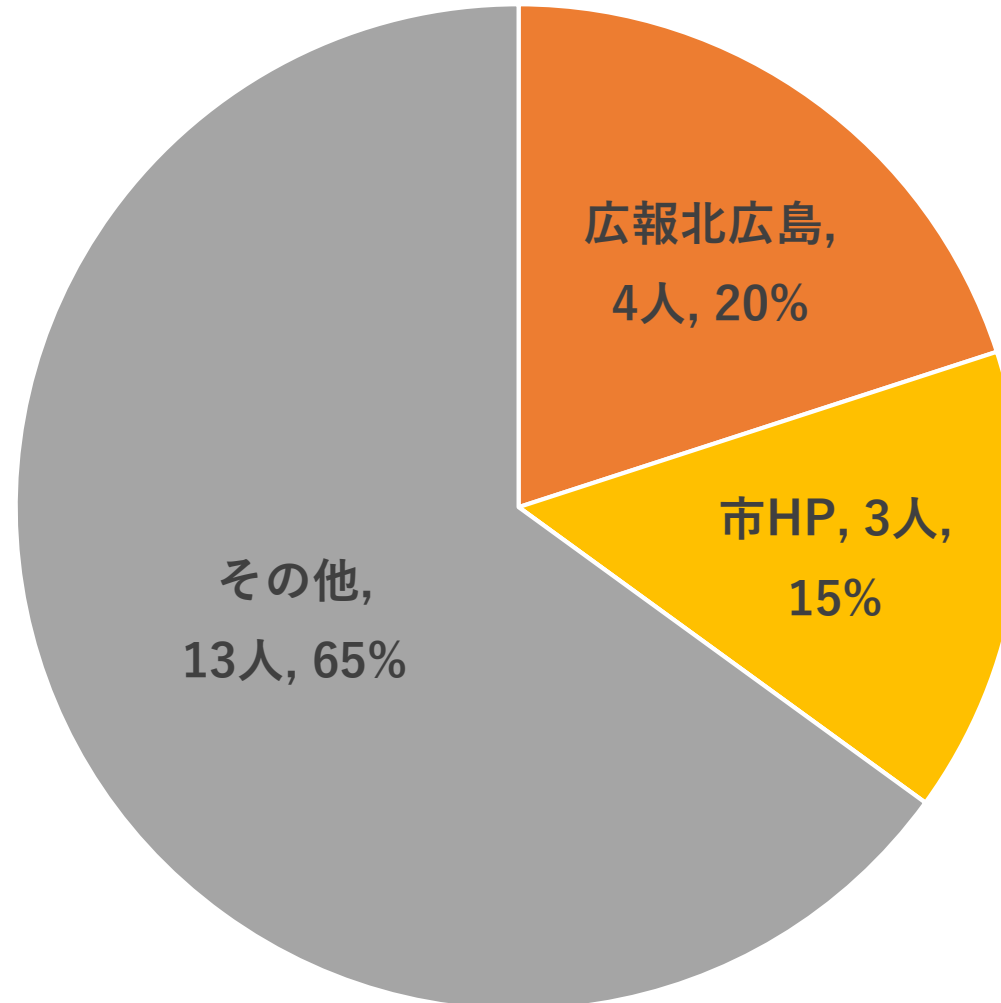


- 主な参加者
- 町内会
- 自治会関係者
- NPO法人

## 年代

### ■ 選択肢

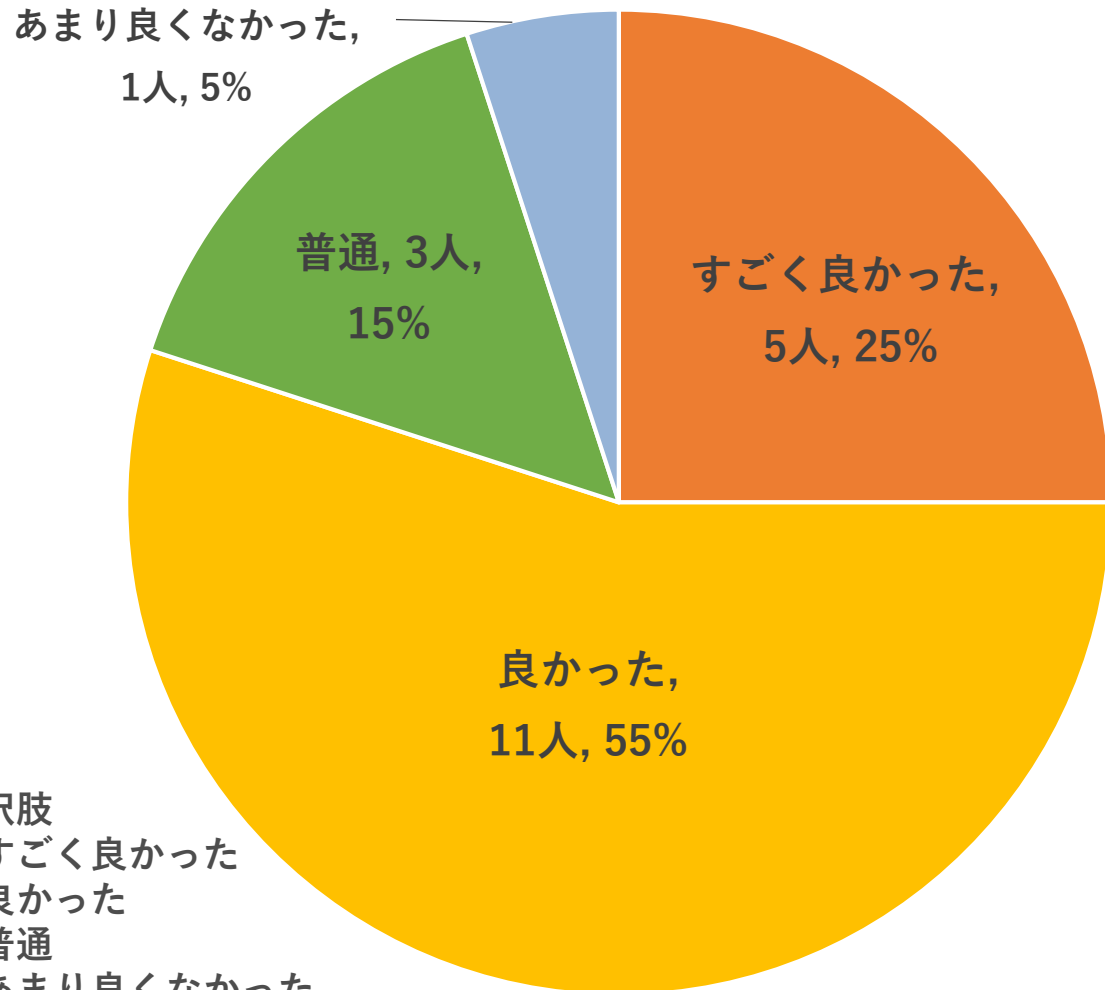
- ① 広報北広島
- ② 市HP
- ③ 新聞
- ④ その他



### ■ その他の内容

- 前回のセミナーから
- 社協のおたより
- チラシ（駅、回覧）
- など

## セミナーの感想



選択肢

① すごく良かった

② 良かった

③ 普通

④ あまり良くなかった

### 【すごく良かった】

- ワークがとても楽しかったです。他の自治会の話聞ける機会が本当にないので、他の自治会とつながれる様な場をもっと作ってほしいです！！
- 情報を伝えることがいかにできていないか（伝えたつもりになっている）がよく理解できました。

### 【良かった】

- 町内会活性化のヒントをもらえた。
- ワークショップよりも質疑応答を増やしてほしい。
- 思いのほか関心の高い方が参加していた。

### 【普通】

- 失敗例とその分析も欲しいと思いました。もっと生々しい問題点を上げて解決した方法を教えて欲しかった。

### 【あまり良くなかった】

- 理念・技術両方共にもう少し深い情報が欲しかった。

## 市民協働によるまちづくりを進めるため、力を入れるべき だと思うこと（自由記載）

- 高齢者と子どもをつなぐような機会、イベント等の開催をしてほしいです。市内の団体に助成を出して市民に盛り上げていってもらっては？行政に限界を感じているイチ市民です。
- それぞれの世代の居場所があればいいと思っています。
- 冬のイベントの時に花火大会を復活してほしい。
- 若手担い手と町内会のパイプ作り（大学との連携）+NPO、児童会館etc
- 引き続き、高齢化、担い手不足対策のセミナーを期待します。
- 現状の町内会活動は、リタイヤ高齢者の名誉職化して手ばなさない。「私がいないと町内会が動かない」「やりたくないけどやり手がないから」などと言いながら、若手の役員や班長を作る施策を実施したがない。このまま20年以内に町内会は消滅していくと思う。
- 若い世代がまちづくりに参加できるような環境や場所、機会を作る。
- 市又は連合町内会などで、オープンな町内会活性化の意見を募集したらどうか。
- スマホ持っている方多数いる。ライン等使いこなせるセミナー等もっともっと実施してほしい。
- 情報発信をささえるための技術を身につける機会を多く設定することが大事だと思いました。
- 若い方にお手伝いしてもらい、つながる方法もあるのだと感じた。
- スマホ教室（若い世代を講師として）での世代間交流。

## お気づきの点・メッセージ（自由記載）

- とても学びになったので、また参加したいです。次はラインスタンプ作成の作り方、お金の稼ぎ方セミナーをやってほしいです。
- まちづくりをするのに、この自然を是非活かしてほしいです。市には北広島の自然を活かしたまちづくりをしてほしいです。
- 町内会中心の様ですが、一般市民のコミュニティ作りにも関係する説明も欲しい。既存の町内会には期待できない。自分達で別のコミュニティを立ち上げられる様にしたい為、町内会が解散して一番困るのは市役所だと思う。今からもっと積極的に町内会活動にかかわって行ってはどうだろうか。
- 若い世代が多く参加できるセミナーを開いて欲しい。
- ありがとうございました。